

< エネルギー基本計画と技術開発 >

1. 基本計画と技術

基本計画の精神は10年のスパンを超えて長期に適用可能
技術開発は、そのような長期の対応の最大のツール

2. 基本計画の基盤要因と対応技術

安定供給 1) 国内資源開発 再生可能エネルギー(含むHP)
原子力

2) 多様化・資源不安定性への対応
流体燃料の脱石油技術: GTL, DME

環境適合 1) REDUCE技術: 効率化
供給サイド 複合発電諸技術
需要サイド 需要マネジメント諸技術
需要機器効率化技術

2) 効率化 / 消費端クリーン化: 分散電源と水素技術
燃料電池(自動車用、定置型) + 周辺技術
非炭素資源からの水素製造技術

3) 特定温暖化対策技術: 炭素隔離技術